

令和6年度意見交換会の報告

国土交通省道路局、地方整備局等との意見交換



▲意見交換会の様子

PC建協では、6月14日に国土交通省道路局、7月から11月にかけて各地方整備局、北海道開発局、及び沖縄総合事務局との意見交換会を行いました（中部地方整備局とは令和7年2月予定）。

次の5テーマを提案し、意見交換を行いましたので報告します。

1. 年度工事量の安定的な確保

各地域の年度工事量の安定化は、計画的経営や雇用の安定を図るうえで極めて重要だと認識しているとの回答が多くあった。また新規プロジェクトの創生の要望に対し、各地域での広域地方計画の策定や国土強靱化中期計画の早期策定を進めるとの回答があった。

2. 働き方改革の推進

土木工事書類スリム化ガイドの策定により、工事関係書類の削減や遠隔臨場による工事検査、段階確認及び立会などは既に取り組んでおり、労働時間の削減に向け、さらなる周知・推進を図っていくとの回答があった。

3. 生産性向上の推進

プレキャスト化の推進については、「コンクリート橋のプレキャスト化ガイドライン」に基づいて比較検討を行ってお

り、今後もプレキャスト化に取り組んでいくとの回答があった。また、ICT活用についても情報共有を図りながら推進していくとの回答があった。

4. PC橋の長期保全の推進

活用効果が見込まれる橋梁補修工事などを対象にECI方式の導入を推進していくとの回答があった。

5. 機能性向上と構造デザイン性を有するプレキャストPC建築の推進

建築現場での生産性向上に向けて、庁舎計画等の建築物の特性に応じてプレキャスト工法やPC工法の活用をさらに推進していくとの回答があった。

高速道路株式会社との意見交換会

PC建協では、9月に西日本高速道路(株)、11月に東日本高速道路(株)との意見交換会を行いました（中日本高速道路(株)とは令和7年2月予定）。次の3テーマを提案し、意見交換を行いましたので報告します。

1. 年度工事量の安定的な確保

現在実施中の特定更新事業を今後継続し推進していくことに加え、今後の事業概要及び中長期の発注見

通しの公表についての取組み状況について説明があった。

2. 働き方改革の推進

新規発注は全ての工事を発注者指定方式の週休2日とし、既契約工事は4週8休適用工事への移行が完了したとの回答であった。総労働時間の削減については、遠隔臨場などの積極的な活用を促進し、施工管理の効率化、省力化を推進していくとの回答があった。

3. 生産性向上の推進

生産性向上のため、プレキャスト構造の有効性を踏まえ今後も採用を推進していくと回答があった。また、ICTについて適用可能なものについては積極的に採用していきたいとの回答があった。

令和6年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」、「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」

令和6年10月18日に東京都千代田区の有楽町よみうりホールで令和6年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）」、「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）」の顕彰式典が開催されました。

今回は建設マスターに452人、

建設ジュニアマスターに121人が受賞されました。PC建協からは建設マスターを4人、建設ジュニアマスターを2人推薦し、合計6人が受賞されました。
顕彰者は次のとおりです。

【建設マスター】

- (有)北郷建設 市木浩幸氏
- (株)大誠工業建設 木下昌彦氏
- (株)トラスト工業 立石好英氏
- (株)竹上建設 中川恵介氏

【建設ジュニアマスター】

- (株)スガナミ 栗野貴彦氏
- (株)岩永建設 福山龍一氏

第3回建設人材育成優良企業表彰

令和6年11月21日に「建設人材育成優良企業表彰」の発表があり、今回は(株)大林組が「国土交通省不動産・建設経済局長賞」を受賞しました。

これは建設産業の担い手の確保及び育成」に取り組んだ企業等を対象とし、国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会が表彰する制度です。

表彰式は12月12日に国土交通省関東地方整備局で表彰式が執り行われました。

令和6年度道路功労者表彰

道路整備事業や道路愛護・美化保全などに推進・尽力した団体・個人を対象とする「令和6年度道路功労者(主催：(公社)日本道路協会)」に、PC建協が推薦した3人が表彰されました。

表彰者は次のとおりです。

- (株)IHIインフラ建設 渡辺 誠氏
- ドーピー建設工業(株) 松下 敏氏
- (株)日本ピーエス 村田昌治氏

現場見学会開催

現場見学会が各地で開催されました。

(北海道支部)

令和6年8月3日と4日に北海道北斗市の北海道新幹線大野橋りょうで函館工業高等専門学校主催の現場見学会を実施しました。同校のオーブンスクールイベント「高専体験DAY2024」の一環で、地元中学生と保護者など16人が参加しました。

本工事は延長381m間における、本線部のPCT桁2連(40m、22m)、PC下路桁1連(45m)、保守用斜路部のPCT桁2連(25m×2)、交差市道における多径間PC中空床版橋

3連(51m、62m、115m)の計8橋の新設工事です(日本高圧コンクリート(株)。見学会は「未来の社会をつくる技術の体験」と題し、同専門学校社会基盤工学科での学びの事例紹介として行われました。PC建協はPCの構造、橋梁の種類、施工方法について説明した後に本橋を見てもらいながら解説しました。

(北陸支部)

令和6年10月3日に新潟県長岡市の国道352号萱峠バイパス上部工工事の工事現場で(一社)新潟県建設業協会主催の現場見学会を実施しました。当日は県や市町村、関係団体の

協力会員20人が参加しました。

本橋はPC2径間連結ポストテンション方式T桁橋(橋長53・4m、有効幅員8・5m)で架設工法は架設桁架設です(川田建設・星野組JV)。見学会では事業概要や構造形式、架設工法などの工事概要を説明後、橋面へ移動しPC構造物の施工に関する注意事項や安全対策なども説明しながら実際の現場を見てもりました。

(中部支部)

令和6年9月13日に岐阜県可児市の東海環状自動車道大須ヶ洞橋第三橋他2橋(PC上部工)工事の工事現場で(公社)日本コンクリート工学会



▲新潟県建設業協会の見学会の様子



▲日本コンクリート工学会中部地区学生研修会の見学会の様子

中部地区学生研修会主催の現場見学会を実施しました。当日は富山大学・大同大学・岐阜工業高等専門学校の学生13人と教員・支部役員等5人の計18人が参加しました。

本橋はPC単純桁橋+PC8径間連続2主版桁橋(橋長295m、有効幅員10・75m)で、架設工法は固定支保工架設です(㈱安部日鋼工業)。見学会では工事概要説明後、橋面・箱桁内・桁下から見学してもらいました。

(中国支部)

令和6年10月4日に山口県山口市の中国自動車道(特定更新等)樫野川橋他2橋床版取替工事の工事現場で、山口大学工学部社会建設工学科3年生15人と教職員2人の計17人を対象に現場見学会を実施しました。

本工事は床版取替工(約4100㎡)、床版防水工(約1万㎡)、プレキャストPC床版(187枚)、落橋防止構造(14基)、支承取替工(36基)の床版取替工事です(川田建設・コアツ工業JV)。見学会では高速道路路上でコンクリート床版の経年劣化状況や床版取替工事の状況を見学してもらいました。

その他、令和6年8月以降に実施された現場見学会は次のとおりです。

開催日	支部名	見学会場	参加団体・参加校	人数
8月2日	四国	四国横断自動車道江田高架橋上部工工事	西日本高等学校土木教育研究会の近畿、中国、四国、九州の会員校の教員	38人
8月5日	北陸	国道253号三和安塚道路神田高架橋	新潟県内の自治体職員	30人
9月9日	北陸	国道352号萱峠バイパス橋梁	長岡、与板、小千谷、柏崎ほか各新潟県事務所の自治体職員	30人
9月20日	北海道	恵庭栗山線馬追橋、新桂沢ダム	北海道土木技術会コンクリート研究委員会、ダム工学会北海道ブロック、PC建協北海道支部の各会員職員、北海学園大学社会環境工学科の教職員・学生	70人
9月20日	北陸	国道352号萱峠バイパス橋梁	新潟県長岡市立太田中学校1、2年生	20人
9月24日	四国	横断道榑淵川橋	阿南工業高等専門学校創造技術工学科建設コース3年生	15人
9月25日	中部	設楽ダム国道257号4号橋PC上部工事	中部地方整備局浜松河川国道事務所、設楽ダム工事事務所の若手技術職員	26人
10月2日	関東	㈱富士ピー・エス関東工場	栃木県職員、自治体職員	18人
10月4日	中部	ドーピー建設工業㈱掛川工場	中部地方整備局静岡国道事務所、浜松河川国道事務所、沼津河川国道事務所の若手技術職員	25人
10月4日	北陸	国道253号三和安塚道路神田高架橋	新潟県建設業協会会員	20人
10月17日	九州	国道443号三橋瀬高バイパス柳瀬大橋橋梁上部工工事	(一社)建設コンサルタンツ協会会員	34人
10月22日	北陸	主要地方道新発田津川線白川大橋	福島県・新潟県道路連絡調整会議の参加自治体職員	19人
11月7日	関東	令和6年度川崎港臨港道路東扇島水江町線主橋梁部側径間上部工事	関東地方整備局職員	18人
11月8日	北海道	北海道新幹線大野橋りょう	苫小牧工業高等専門学校3年生	12人
11月13日	東北	国道7号大砂川こ道橋	秋田県の自治体職員、(一財)秋田県建設・工業技術センターの職員	24人
11月20日	関西	新名神高速道路信楽川橋(PC上部工)工事	滋賀県職員、設計会社	6人
11月27日	関東	令和6年度川崎港臨港道路東扇島水江町線主橋梁部側径間上部工事	(一社)建設コンサルタンツ協会関東支部会員	33人

PC技術専門家を派遣

PC建協では学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的に各地区でPC技術専門家派遣事業を展開しています。

(関東支部)

令和6年10月16日に芝浦工業大学工学部土木工学科の3年生68人を対象に「土木キャリアアップセミナー」と題した特別講義を実施しました。講義ではPC業界の概要、職務内容や資格、最近の話題について経験談を交えて説明しました。

(北陸支部)

令和6年10月4日に福井工業高等専門学校環境都市工学科の4年生31人を対象に「PC橋の概要と施工」と題した講義を実施しました。

講義ではPC建協の紹介、PCの概要や建設業の仕組み、PC橋の架設、福井県内のPC橋梁の紹介や施工方法をシース・PC鋼線の実物を用いて説明しました。学生からは理解できたと好評でした。

(関西支部)

令和6年10月22日と29日に大阪産業大学工学部都市創造工学科の3年生を対象にPCに関する講義を実施

講義は両日とも約30人が受講し、PC構造の概要、PCの設計・施工法の説明と演習などを行いました。また神鋼鋼線工業(株)によるPC鋼線の緊張実演も行いました。

(九州支部)
令和6年10月7日に鹿児島大学工学部先進工学科海洋土木工学プログラムの3年生17人を対象に「PCの概要と設計・施工について」と題した講義を実施しました。

講義ではPCの概要と県内外の構造物を紹介しました。続いてPC橋の施工と設計の解説を行い、最後に演習問題を課しました。



▲大阪産業大学工学部都市創造工学科での講義の様子

開催日	支部名	学校名	開催日	支部名	学校名
10月15日、21日	中国	山口大学工学部	11月14日	関東	早稲田大学創造理工学部
10月22日、29日	関西	大阪産業大学工学部	11月18日	九州	熊本大学工学部
10月22日、11月26日	関西	舞鶴工業高等専門学校	11月20日	中国	米子工業高等専門学校
10月25日	関東	東京大学工学部	11月21日	北海道	室蘭工業大学工学部
10月31日、11月5日	北海道	北海道大学工学部	11月22日	関東	木更津工業高等専門学校
11月8日	九州	福岡大学工学部	11月27日	関東	前橋工科大学工学部
11月8日	北陸	新潟大学工学部	11月27日	九州	九州大学工学部
11月11日	四国	香川高等専門学校	12月5日	関東	国士舘大学理工学部
11月13日、20日	関東	東京理科大学創域理工学部	12月5日	関東	東京都市大学建築都市デザイン学部
			12月8日、15日、22日	関東	茨城大学理工学部
			12月20日	関西	京都大学工学部

その他、令和6年10月以降に実施されたPC技術専門家の派遣講義は次のとおりです。

各地でPC技術講習会開催

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

(東北支部)

令和6年9月3日にオンラインによる「令和6年度建設技術基礎研修(橋梁編)(主催：(公財)山形県技術センター)」において、自治体職員など27人に対し、PC橋の概要、PC橋の計画、PC橋の積算について解説しました。

(関東支部)

令和6年9月9日に長野県松本市の松筑建設会館での「令和6年度土木技術研修(橋梁(PC橋))(主催：(公財)長野県建設技術センター)」において自治体職員など39人に対し、PC橋の基本・概要、計画・設計照査のポイント、施工、補修補強における設計・施工の留意点、定期点検とメンテナンスを解説しました。

(中部支部)

令和6年9月12日にオンラインによる「令和6年度構造土質検討グループ第1回技術講習会(主催：(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部)」において支部所属の技術者250人に対し、PC構造の概要とPC

橋のFEM解析について解説しました。

(関西支部)

令和6年8月28日に大阪府中央区の大阪府都市整備推進センターでの「市町村橋梁点検担当者研修会(主催：(公財)大阪府都市整備推進センター)」において、自治体職員18人に対し「PC橋の維持保全」と題した講習を行いました。内容はPC橋の維持管理のポイント、コンクリート橋の点検におけるポイント、PC橋の点検・調査・モニタリング技術とICTの活用についてでした。



▲市町村橋梁点検担当者研修会での講習会の様子

〔四国支部〕

令和6年9月6日、13日、17日、25日の4日間、愛媛、徳島、香川、高知の四県で「三協会合同技術講習会（主催…（一社）建設コンサルタンツ協会 四国支部、PC建協、（一社）日本橋梁建設協会）を開催しました。

講習会には各会員企業の技術者など計135人が参加しました。PC建協は、PC橋の設計施工における新しい取り組み「iBridge」、PC橋の維持管理におけるDXへの取り組みについて解説しました。

〔九州支部〕

令和6年9月20日に宮崎市の宮崎県建設技術センターでの「橋梁研修（スキルアップ研修）（主催…（公財）宮崎県建設技術推進機構）」において自治体職員8人、ゼネコン15人、コンサルタン9人に対して講師を務めました。

研修ではPC橋の基本として、PC構造の概要、PC橋の分類と特徴、施工管理のポイント、PC橋の設計を解説しました。

その他、令和6年8月以降に実施されたPC技術講習会は次のとおりです。

開催日	支部名	講習名	主催・共催	人数
8月23日	九州	実務に役立つ-プレストレストコンクリート建築設計・施工勉強会	主催：PC建協、共催：（一社）日本建築構造技術者協会九州支部	19人
8月28日	関東	山梨県橋梁技術講習会	山梨県県土整備部 道路整備課	会場：29人 オンライン：10人
8月28日	関西	PC橋の維持保全	大阪府都市整備推進センター	18人
8月29日	東北	令和6年度橋梁技術研修	主催：（公財）岩手県土木技術振興協会 共催：岩手県	19人
9月5日	北陸	令和6年度県土木技術職員研修（道路）	富山県土木部道路課	31人
9月17日、10月18日	中国	令和6年度建設業従事者研修「コンクリートの施工技術Ⅱ（初級）」	（公財）岡山県建設技術センター	9/17:35人 10/18:25人
9月25日	北陸	けんせつセミナー2024「橋梁Ⅱ（上部工の設計・施工編）」	（一財）新潟県建設技術センター	80人
9月26日	東北	令和6年度土木部職員研修「橋梁設計研修」	宮城県土木部	会場：8人 オンライン：24人
10月2日	関東	栃木県技術講習会「橋梁設計研修～設計から橋梁製作まで～」	（公財）とちぎ建設技術センター	18人
10月11日	北陸	PC橋に関する実務講習会	PC建協北陸支部	26人
10月16日	東北	令和6年度道路構造物技術セミナー	東北地方整備局	14人
10月23日	東北	令和6年度橋梁技術研修（鋼橋・PC橋編）	山形県	オンライン：134人
10月23日	関西	PC橋の計画、設計について	和歌山県県土整備部	16人
11月7日	中国	令和6年度PC橋勉強会	中国地方整備局道路部	会場：8人 オンライン：157人
11月12日	北海道	令和6年度PC橋に関する技術講習会	（一社）建設コンサルタンツ協会 北海道支部	40人
11月13日、27日	北陸	わかりやすいPC橋の施工技術研究会	PC建協北陸支部	11/13新潟：9人 11/27富山：24人
11月19日	関東	橋梁メンテナンス技術研修会【令和6年度第3回】 【橋梁保全について学ぶ】	橋梁メンテナンス研究会	70人
11月27日	関東	埼玉県令和6年度橋りょう技術研修会（第4回） ～PC橋編～	埼玉県	会場：42人 オンライン：13人
11月29日	九州	橋梁の計画から施工まで	（公財）大分県建設技術センター	会場：23人 オンライン：13人

令和6年度東北地方整備局総
合防災訓練に参加

〔東北支部〕

令和6年10月2日に「令和6年度東北地方整備局総合防災訓練」が行われ、管内広域で最大震度6強（重点支部以外は一律6弱）の大規模地震を想定した初動対応訓練が実施されました。

総合防災訓練は毎年8月30日～9月5日の「防災週間」に実施されていますが、今年7月の梅雨前線に伴う降雨災害対応などにより延期となり、この日に実施されたものです。

PC建協は「災害時における東北地方整備局所管施設の災害応急対策業務に関する協定」に沿って、この訓練に参加協力しました。



▲ 東北地方整備局総合防災訓練の様子

建設技術展示会に出展

(中国支部)

令和6年10月30日と31日の2日間、広島市南区の県立広島産業会館東展示館を主会場に「建設技術フォーラム2024 in ちゅうごく」(主催：建設技術フォーラム実行委員会)(PC建協などで構成)が開催されました。

PC建協ブースでは、生産性向上対策としてプレキャスト技術とICT技術を中核として取り組んでいることを説明しました。

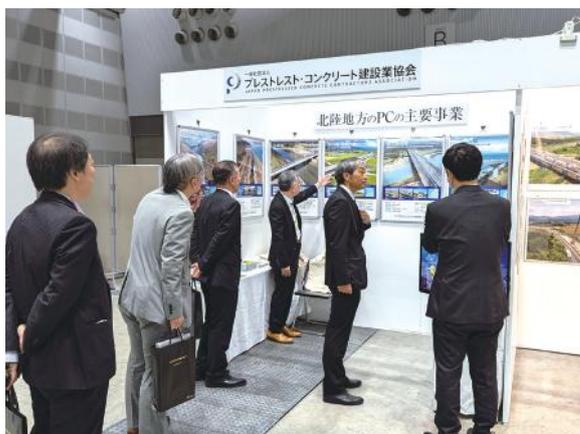


▲ 建設技術フォーラムでのPC建協ブースの様子

第33回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム、出展

「第33回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」(主催：(公社)PC工学会、後援：PC建協)が令和6年10月17日と18日に新潟県新潟市の朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)で開催されました。

PC建協ブースにはI・I・I人が来場し、北陸地方の主要なPC事業を紹介しました。



▲ シンポジウムでのPC建協ブースの様子

全国から開通情報

(関西支部)

国道42号新宮紀宝道路(紀宝〜新宮北)、開通

令和6年12月7日に和歌山県と三重県を結ぶ国道42号新宮紀宝道路(紀宝IC〜新宮北IC間、延長2.4km)が開通しました。これにより、災害時のネットワーク確保や医療機関へのアクセス向上が期待されます。三重県の紀宝鶴殿IC付近で催された開通式典では地元関係者などが出席し、テープカットなどで開通を祝いました。



▲ 熊野川河口大橋
※出典：プレスリリース 令和6年11月7日発信(近畿地方整備局)を加工して作成

編集委員会

荒瀬 美和(編集委員長)、石井 一生(副委員長)、
吉山 誠之(副委員長)、湯山 芳夫、照井 満、鈴木 裕二、
松井 敏二、堀 重伸、大塚 俊介、牧 哲史、太野垣 泰博

編集部会

荒畑 智志(部会長)、小谷 仁(副部会長)、木村 良輔(副部会長)、
瀬戸 裕一郎(副部会長)、阪田 憲一、河野 雅弘、武藤 浩美、喜多 俊介、浅野 真人、
勝野 源基、福井 大樹、中田 清博、荻部 秀次、小林 晃一、渡邊 絵美、小楠 元久

編集後記

今回のルポのきっかけとなった『踊る大捜査線』といえば、私の中では『レインボーブリッジを封鎖せよ!』が一番の思い出。関西在住だった私は、レインボーブリッジ封鎖の撮影が、供用前の京滋バイパスで行われたと知り、より一層テンションが上がったことを覚えています。今回は映画の主人公、室井さんの出身地である秋田の秋と文化に触れてきました。豊岩配水池ではPCタンクの屋根に登って秋田市を眺め、PC構造物がここに住む人々の生活になくはならないものだと思うと胸が熱くなりました。また、齋彌酒造店でお会いした蔵人の方の優しい笑顔の中には、酒造りへの強いこだわりと自信があふれていました。“技を伝え、研究を重ねていくことが大切”との言葉は、酒、構造物の違いがあるものの、モノづくりをする者として心に染み、尊敬と憧れを抱きました。

「名橋をめぐる」では池田へそつ湖大橋、鳴瀬川橋梁について寄稿いただきました。高速道路を降りて、途中下車して、ゆっくり眺めてみたいものです。

「こんなところにPCが!」の岐阜市役所立休駐車場、「明日を築くプロジェクトの風景」のNAGASAKI STADIUM CITY、そしてルポで訪れた秋田県立美術館など、実は建築物の一部に用いられているPC構造物。身近なところで私たちの生活を支えているPCを探してみるのも面白いかもしれません。(渡邊)